

成功する今後3年間の最速シナリオ

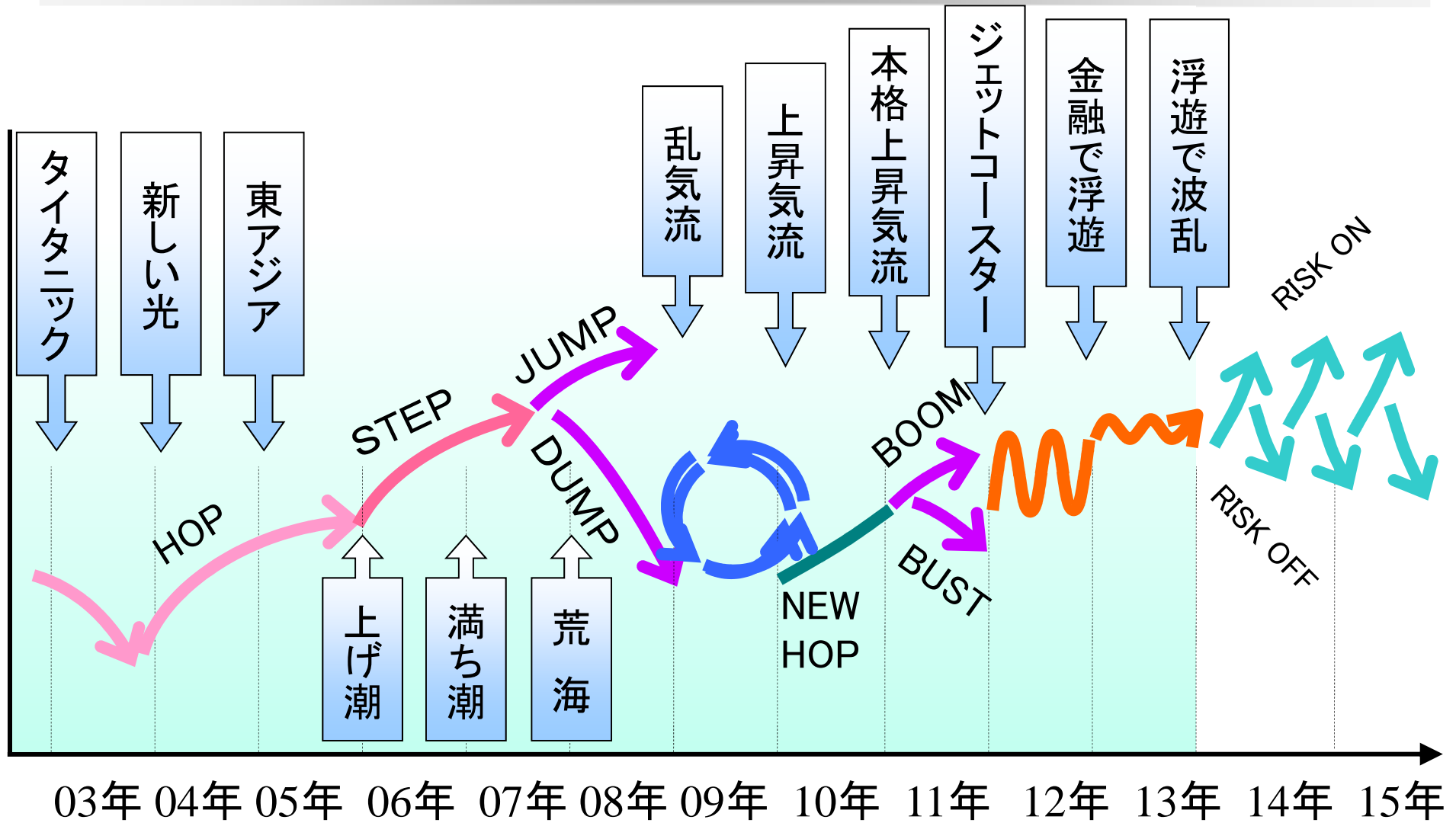
— 浮遊経済からデフレ脱却・成長への道 —

2015年2月27日

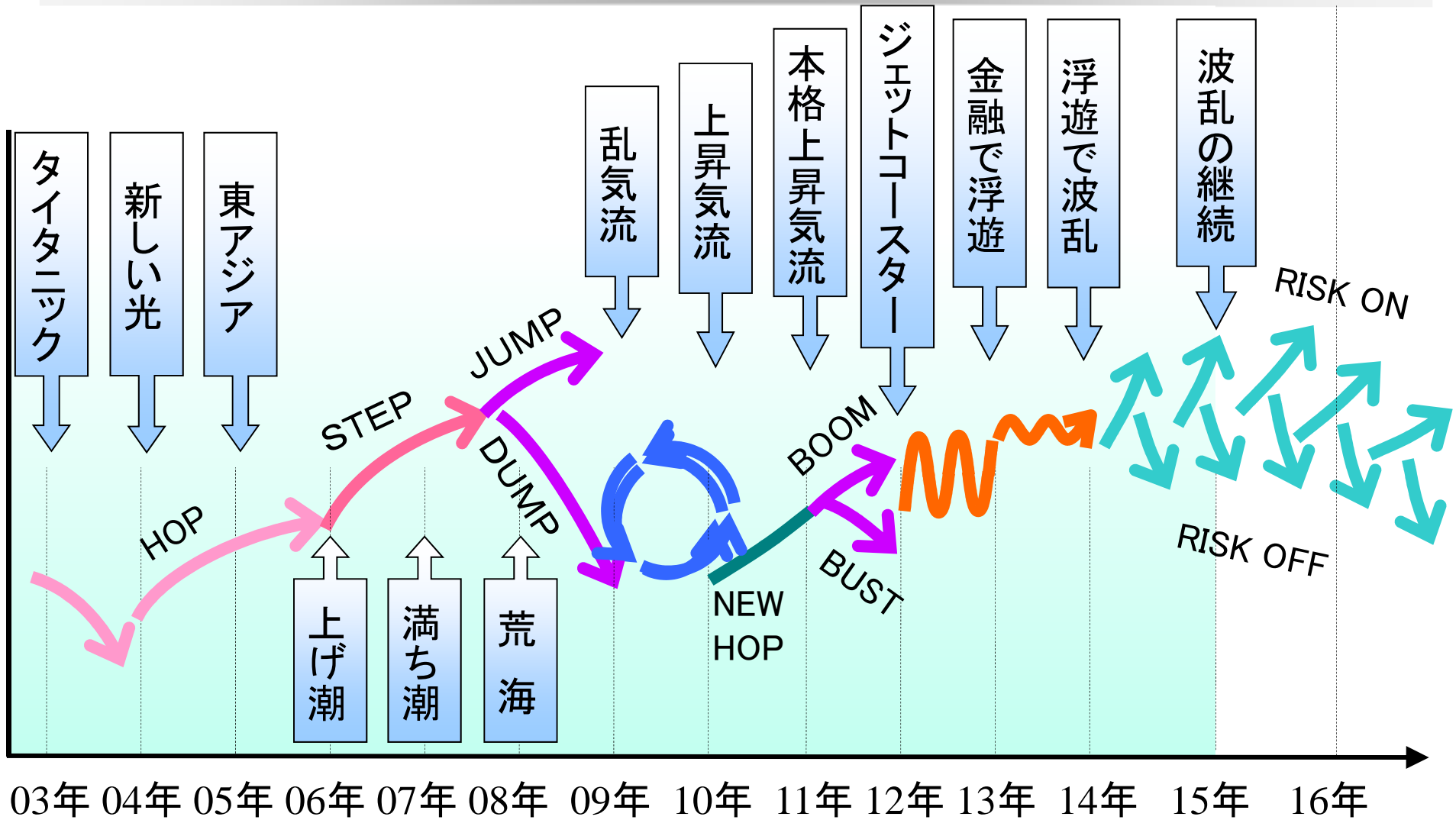
イノベーション・エンジン株式会社

代表取締役社長 佐野 睦典

浮遊で波乱 (2014年2月講演資料)



波乱の継続



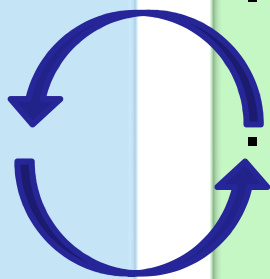
悲観が楽観を上回り始める(昨年資料の修正)

楽観の要素

- ・世界の景気は順調○
→米国以外はやや低調△
- ・世界の金融は緩和○
→緩和維持だが米国が変化か△
- ・企業業績は好調○
→徐々にピーク感△
- ・エネルギーなど物価安定○
→下落含みで不安定△

悲観の要素

- ・米国景気がピークに近づいている×
→同様×
- ・中国の成長鈍化で過剰投資が破綻しないか×
→同様×
- ・新興国の景気悪化懸念×
→同様×
- ・資源価格の一段の低下懸念×
→下落含みで不安定△
- ・ギリヤ不安で南欧諸国に波及×
- ・イスラム国、ウクライナなどの政治不安×



黒字: 昨年講演分 赤字: 今年の状況

更なる景気下支え政策が続く

- ◇ リーマンショックから6年
- ◇ 景気循環的には、そろそろ後退する時期
- ◇ 金融リード型経済となった今、景気後退により、弱い部分を投機家が狙い打ちする懸念が高まる
 - 不動産市場(ex.中国)
 - 株式市場(ex.新興国)
 - 商品市場(ex.石油)
 - 弱体国の国債(ex.ギリシャ)、など
- ◇ 金融・経済の大混乱を恐れて、主要国政府は未然に防止策を打ち続ける(超金融緩和の持続、など)
⇒ 結果、不安定な均衡の中で波乱が続く

日本は3年間の執行猶予期間に入った

- ◇ 大幅な財政赤字と膨張する国債残高
- ◇ このままだと日本の信用が保てるのはあと3年間
- ◇ 日本は、自己責任で財政黒字化に向けて踏み出す最後のタイミング

日本復活の方向はシンプル

1. 成長力回復で歳入増

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| ① 労働力増加 | ⇒ 少子高齢化対策
⇒ 高齢者、女性、外国人の採用増 |
| ② 生産性向上 | ⇒ TPP実現
⇒ 企業統治改革
⇒ 成果報酬の導入 |
| ③ 需要・設備投資増加 | ⇒ デフレ脱却、賃金引上げ
⇒ 法人税引下げ |

2. 無駄な歳出減

- | | |
|------------|-------------|
| ① 社会保障費の削減 | ⇒ 財政・社会保障改革 |
|------------|-------------|

◆ 構造改革で産業活力を高める

＜電力業界、通信業界、農業、建設・サービス業、医療・介護業界＞

◆ 成長産業を劇的に伸ばす

＜情報ネットワーク、ロボット、長寿・健康、環境・エネルギー＞

◆ 日本の強味を世界に広げる

＜先進技術、インフラ技術、クールジャパン＞

構造改革で産業活動を高める

- ◆ 電力業界の自由化
 - 新電力の台頭
- ◆ 通信業界の完全自由化
 - 格安スマホの出現・シェア拡大
- ◆ 農業・漁業の国際競争力向上
 - 六次産業化
 - ブランド化
- ◆ 建設業の近代化・効率化
 - システム化・高度化
- ◆ 医療・サービス業のハイテク化
 - ロボット活用

◆ 情報ネットワーク

- 個別対応広告・マーケティング
- IOT(全てのものがインターネットと繋がる)
- AI(人工知能があらゆる場面に)

◆ ロボット

- サービスロボット(「変なホテル」)
- 医療・介護ロボット(重労働はロボットに)
- 作業ロボット(危険作業はロボットに)
- 自動運転カー(無人カーの時代へ)

◆ 長寿・健康

- 再生医療(寿命100才への挑戦)
- 免疫医療(自然治癒力を生かす)
- ドラッグデリバリー(病巣を直接たたく)
- 予防・DNA診断(治療より予防)

◆ 環境・エネルギー

- 再生可能エネルギー(サステナビリティのために)
- 省エネ・リサイクルの徹底

◆ 先進技術の世界展開

- 環境・エネルギー（アジア全体をクリーンにする）
- 地場産業の世界展開

◆ クールジャパンの世界展開

- 食の世界展開（日本発のマクドナルドを創る）
- 住の世界展開（日本の住まいを世界に売り込む）
- 観光立国・日本